

令和5年 第9回 根室市教育委員会 会議録

1. 非公開案件の審議（会議録省略）

- | | |
|------------|--|
| (1) 議案第31号 | 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価に関する報告書の作成及び議会への報告について |
| 結論 | 原案どおり決定 |
| (2) 議案第32号 | 教育上特別な支援を必要とする児童の教育措置に係る諮問について |
| 結論 | 原案どおり決定 |
| (3) 議案第33号 | 令和5年度根室市文化賞（奨励賞）受賞者の選考に係る諮問について |
| 結論 | 原案どおり決定 |
| (4) 議案第34号 | 令和5年度教育費補正予算案を市長に提出することについて |
| 結論 | 原案どおり決定 |
| (5) 報告第9号 | 事務の臨時代理の報告について |
| 結論 | 原案どおり承認 |
| (6) 報告第10号 | 事務の臨時代理の報告について |
| 結論 | 原案どおり承認 |
| (7) 報告第11号 | 教育上特別な支援を必要とする児童の教育措置決定の報告について |
| 結論 | 原案どおり承認 |
| (8) 報告第12号 | 事務の臨時代理の報告について |
| 結論 | 原案どおり承認 |
| (9) 報告第13号 | 教育上特別な支援を必要とする児童の教育措置決定の報告について |
| 結論 | 原案どおり承認 |

その他

1. 新型コロナウイルス感染症による学級閉鎖について

<教育部長>

新型コロナウイルス感染症による地域学校の学級閉鎖について報告いたします。

柏陵中学校ですが、本日コロナ陽性3名、発熱3名、体調不良2名、帰宅を促さなければならぬ生徒1名の計9名の連絡がありました。

複数の感染者が確認されていることから、9月5日から9月10日日曜日までの6日間、学級閉鎖の措置といたしました。修学旅行時に感染が広がったものと考えております。

2. 義務教育課程9ヵ年皆勤表彰の廃止について

<教育部長>

義務教育課程9ヵ年皆勤表彰の廃止についてご相談させていただきます。

皆勤表彰につきましては9ヵ年継続して欠席がなかった生徒を対象とし、学校の卒業式に合わせて表彰状と記念品を贈呈してきたものであります。

しかしながら今回のコロナ禍におきまして、自ら管理のためには、衛生面での管理を続けながら、休養を十分に取ることの重要性が認知されるとともに、近年は本人の理由だけではなく、無理をして体調を崩してしまう事例もあり、学校に行けない児童生徒に対して、学校に通えなくても学習できるような環境整備も進んできており、「必ずしも登校を継続することだけが重要ではない」と昨今の考え方が変化してきております。

また近隣の状況について調査しましたところ、教育委員会としての皆勤表彰を行っていないのをご確認しております。学校単位で行っているところはあるというのが現状です。

こうした現状を踏まえまして、教育委員会としましては、検討の結果、令和7年度末令和8年3月をもって廃止という方向で考えております。

<教育長>

新型コロナウイルス感染症に係る学級閉鎖についてご意見等ございますか

(特になし)

9ヵ年皆勤賞の廃止についてご意見等ございますか

<委員>

時代の流れを考えると、個人的には皆勤表彰はもう必要ないのかなと思っています。

ただ、皆勤表彰に対しての保護者としての考えもあるので、皆勤表彰に変わる学校独自の賞や表彰というのはあった方がいいのかなと思います。

<委員>

個人的なことになりますが自分の娘はまだ欠席していません。

そのため、親が登校を強制することなくとも、本人が休みたがらないという状況です。

そのような子どももいるので、皆勤表彰ではなくとも表彰はあるべきなのかなと思いました。

<委員>

皆勤賞を目指して登校を頑張る子もいるので、やはり9ヵ年皆勤賞というのは一つの目標になるものなのかなと思います。しかし、体調不良でも皆勤のために登校するとか、無理をしても登校させるというのは好ましくはないとも思っています。

しかし、表彰がなにも無いということも寂しいがしますので、何かしら表彰のようなものを用意してもいいのかなとは思っています。

以上です。

<委員>

コロナ禍もあり、体調面で無理をしないというのは当たり前だとは思いますが、やはり、児童生徒の親としての気持ちもあるとは思っていますので、2年という経過措置の期間はちょうどいいのかなと思います。

以上です。

<教育長>

様々な立場やご意見があるのは承知しております。

コロナ禍もあり、世界の情勢も変化してきています。

時代は変わってきて、自分の心と体をどうコントロールするかという時代になってきています。

そのため、多くの休暇制度もできていますし、体調だけではなく、心に不調が出たときにも、どう自分でセルフコントロールしていくかと言ったときに、休暇を活用していくということが非常に大事です。

学校時代から自分で心や体をコントロールするという力を求められてきており、少しずつ移行していくためにも2年の猶予期間を設けるといった考えです。

<教育部長>

様々なご意見ありがとうございます。

今回の会議で決定ではなく、いただいたご意見も踏まえ、後日、再協議させていただければと思います。

<教育長>

その他に事務局、各委員からございますか。

<委員>

先日、熱中症対策で緊急下校になった件です

根室市は比較的涼しいということもあり、ご自宅にエアコンを設置している家庭は少ないと思います。

そのため、涼しい所へ避難するため、エアコンを設置している市の施設へ行ったところ、「緊急下校のため小学生は入れません。」と言われたとのことでした。

その対応について違和感を覚えました。

コロナウイルスやインフルエンザになったわけではないし、午後から気温上昇で屋外が暑いから出ないように指示もあり、午後からのプール授業もなくなりました。

涼しい施設の利用については、もう少し柔軟な対応をしていただきたいと思います。

<教育部長>

緊急下校をした日についてですが、まず午前中に中学生一名が熱中症疑いで緊急搬送されました。

さらに、朝から北海道全域で熱中症緊急アラートが出ていました。

2学期が始まり、暑い日が続いていたこともあったため、児童生徒の疲れが溜まってきているなどという事がありまして、家に帰れば少しリラックスできるのではないかと考え、緊急下校を実施いたしました。

委員の指摘の通り、家にはエアコンがないため、エアコンのある施設の利用についての配慮が足りなかったと思います。柔軟な対応を検討していきます。

<委員>

夏休みが基本的に北海道の場合は短いように感じます。

それについて8月末まで延長とかの議論とかはありますか。

<教育長>

現段階でそのような議論はありません。

エアコン設置についてのご意見もあると思いますが、財政面を考えると、年間で1週間あるかどうかの猛暑日で全教室設置などそれなりの財政負担をかけれるかということ、簡単には判断できない部分もあります。

<委員>

全校クーラー設置というのは、施設も老朽化している状況を踏まえると難しいのかなって思います。

その代わりにクーリングルームという形で、視聴覚室などのある程度大きな部屋を冷やして避難できる部屋を設けるというのも一つの方法なのかなと思います。

<教育長>

おそらく小・中学校としては、保健室にエアコン設置が考えられます。

<学校教育指導主幹>

子どもたちも熱中症対策を個人でやっていかななくてはなりません。

小学校の熱中症対策として、ハンディ扇風機や団扇等を使った子どもの映像をホームページに載せて、個人での暑さ対策についてお知らせした学校もあります。温度や湿度が高い状況を踏まえて学校で細かな判断をしていかななくてはならない状況です。

<教育長>

その他よろしいでしょうか。

以上をもちまして、第9回教育委員会の会議を終了します。

(11時00分 終了)